

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	法政大学
申 請 区 分	タイプB
〔評価コメント〕	
<p>本構想は、グローバル教養学部と国際文化学部を核に英語強化プログラム（ERP）を導入し、他学部の学生も含めてグローバル人材を育成しようとする意欲的な取り組みである。日本人の学生に対して、海外からの留学生とともに英語で日本について学ぶ機会が与えられる点でもユニークさが認められる。</p> <p>外国語カスタンダードの目標レベル及び達成する学生数とその割合、海外留学者数、外国語カスタンダードを満たす事務職員数等取り組みの核となる部分の数値目標が適正かつ高く設定されており評価できる。</p> <p>本構想における2つの取り組み学部においては、海外留学を推進するための基盤整備（奨学金制度を含む）がすでに相当なレベルまで進んでおり、それをベースに更なる向上が期待できる。育成するグローバル人材像が明確にされており、それを踏まえ、卒業・修了時までには学生が修得すべき具体的能力がわかりやすく示され、かつその能力を養成する手段と段階も明確になっている。</p> <p>海外の大学院への進学や国際公務員を含めてキャリア・ディベロップメントの面からも高い目標設定を学生に強く認識させるような工夫がされている。また、海外でのインターンシップやボランティア・プログラムも大きな効果が期待できる。</p> <p>しかしながら、本構想はグローバル教養学部と国際文化学部という英語に関して学内で突出した学部を中心にしたものであり、かつ英語教育に重点を置いている。本構想の実施によりどのように全学に展開するかの更なる工夫が必要である。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	